

平成23年度 第3回荒川地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成23年12月19日(月) 15:00~16:27
2. 開催場所 荒川支所 3階第1・2会議室
3. 出席委員 会田健次、松田昭平、田島 勉、片岡 弘、山田俊治郎、
石山忠一、小川 巖、山崎キイ子、石山 健、
4. 欠席委員 信田瑠美子、渡辺 悦子、鈴木 薫
5. 出席職員 平野荒川支所長、
企画政策室；竹内室長、大滝主査、
荒川支所自治振興室；川崎室長、小川(智)副参事
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成23年度 第3回荒川地区地域審議会 会議次第

日 時：平成23年12月19日(月)15:00～

会 場：荒川支所 3階 第1・2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1)(仮)定住の里づくりアクションプラン(素案)について

4 そ の 他

5 閉 会

会議経過

1. 開会 (15:00)

事務局； ただいまから平成23年度第3回荒川地区地域審議会を開会します。開会にあたりまして当地域審議会の会長よりごあいさつをお願いします。

2. 会長あいさつ

会長； 本日はご多用の中、今年度第3回目の地域審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今年は、昨年に続いて大雪の傾向とのことですが、日常生活に支障のないことを願っているところです。

本日予定している内容は、定住の里づくりアクションプランについて議論していただくこととなります。また、2月中には市長に答申しなければならないという短い日程になっておりますので、みなさんから忌憚のないご意見をいただき、活発な議論をしていただきたいと思います。

先般、事務局から質問事項等をまとめた資料が送付されておりますので、これも参考にしながら審議を進めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局； ありがとうございます。

委員の欠席を報告します。本日は社会福祉協議会の信田委員、県立坂町病院長の鈴木委員、PTA協議会の渡辺委員が欠席となっておりますので、ご報告いたします。

本日は、本庁企画政策室より竹内室長、大滝主査、荒川支所より平野支所長、小川（智）副参事が出席しております。

3. 議事

(1) (仮)定住の里アクションプラン（素案）について

事務局； 議事に入りますが、ここからは会長に議長をお願いし、会議を進めていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

会長； それでは、議事を進めて参ります。議題は定住の里づくりアクションプラン（素案）であります。まとめ方等も含めて事務局から説明等ありますか。

事務局； このアクションプランについては、あくまでも施策の方向性を示すものです。字句などの表現方法については、事務局にご一任いただくようお願いしたいと思っております。

進め方についてですが、プロジェクトごとに進めていってはいかがでしょうか。個々の具体的な事業ではなく、こういった方向性がいいいのではないか等の視点でご検討いただければと思っております。

また、先般送付させていただいた質問事項等に対する回答の中で、4ページの荒川統合保育園の開園予定が平成25年となっておりますが、平成26年の誤りでございますので、訂正いただくようお願いいたします。

会長； プロジェクトごとにまとめていきたいと思いますので、みなさんからご意見をお出しいただきたいと思います。

また、当地区の施策の方向性についても2項目上がっていますので、これについてもご検討をお願いいたします。

先般送付された質問事項等に対する回答の一番上の項目についてですが、アクションプランを達成するための具体的な方法を聞きたかったので、質問を出したのですが、その回答が、「～後期実施計画にできる限り反映していきますが、事業化については限られた財政規模の中で～」となっていて、期待した回答ではありませんでした。われわれの議論の成果が本当に実現されるのかという疑問が残ります。

事務局； ご指摘のとおりで、ここで任せてくださいと言えればいいのですが、みなさんご承知のとおり裕福な市ではございませんので、こういった表現の回答しかできない状況です。

ただ、一つでも二つでも、いただいたご意見を後期実施計画に反映させるための諮問ですので、ご理解いただきたいと思います。

委員； 3ページの産業元気プロジェクトの中に農商工連携とあります。例えば、農商工が連携して荒川地区の特産を使ってお菓子などを中央に販売しようとしても、なかなか実現しないです。本当に地域を活性化するのであれば、荒川地区は農家もっている地区ですので、農家の所得を上げていかなければならないと思います。

私は、荒川地区内の食料品会社と農家・農協が連携していくことができないかと考えています。スーパーなどで売るためには規格をクリアしたものしか納品できませんが、お弁当を作っている会社などでは、規格外のものでも味は同じですので、そういうジョイントによって、農家の所得を上げていけるのではないのでしょうか。

委員； 質問・回答資料の産業の活性化の農商工連携についての質問は、私が出したのですが、真意は、農商工連携の具体的なイメージが湧かないことから出たもので、神林や朝日の道の駅などをイメージすればいいのかということです。

もう一つ、6次産業化についてですが、天候の影響を受けて農産物の生産がうまくいかなかった時に、外から資本が入ってくることも考えられると思います。そうなると地元の農業はダメになってしまうことが危惧されます。

また、6次産業化という方向で進んでいった時に、農協との関係がどうなるのかという疑問もあります。6次産業化というものをもっとよく検証して、T P Pの事も含めて、農業の今後について考えていく必要があると思います。

そういう意味でも安易に6次産業化と言わないほうがいいのではないかと思います。

委員； 6次産業化というのが飛躍しすぎる感じがします。自分たちが生産したものを加工するといっても、必ず資本が必要です。

地区内の会社では、地元の食材を使いたいのが難しいとの話でした。その辺の課題を行政などと連携してクリアしていくべきだと思います。

事務局； 6次産業化という言葉は、今のはやり言葉でもあると思いますが、この地域にとって農商工連携が適しているのか、6次産業化が適しているのか、事業者が判断するわけですが、どちらに対しても支援をしていくというのが、この項目の趣旨です。

会長； 一つ一つでなくても、五つのプロジェクトの中で、何かご意見があれば出していただきたいと思います。何かございますか。

委員； 交流・体験プロジェクトの中の定住・交流人口の拡大についてですが、荒川地区の定住策を考えた場合、やはり住宅地域を拡大、宅地造成をして定住人口を増やしていくべきと考えます。

また、荒川地区は新潟市から山形県へ行く場合などの通り道であり、そこで何かをやるには条件的にいい場所です。地元の農産物を販売するなどで産業の活性化を図ることもできるし、雇用の創出にもつながります。

一つ一つ切り離して考えるよりも、各項目の関連性を考えていくことも必要だと思います。

会長； 今のご意見を含めて、各地区ごとの施策の方向性の部分で検討していくこともできると思います。

当地区は、村上市の中で人口減少が一番少ない地区で、住みやすいまちと言えます。そういう環境を活かしていくためには、例えば、荒川地区を村上市のベットタウンとして位置づけていくことも一つの手法です。

荒川地区はこうあるべきだということを地区ごとの施策の方向性の部分で述べていければいいのではないかと思います。

委員； 今議論しているアクションプランは村上市全体を対象としているもので、山北地区から荒川地区までのさまざまな特性を考慮して検討していくのはなかなか難しいです。

委員； 定住人口の拡大について、空き家の活用はいいが、他の地区は荒川地区よりも空き家が多いと思います。そういったものを活用していくことは、それだけ財政負担が増加してしまうので、経費をかけないで活用できる空き家を対象にしていくのがいいのではないのでしょうか。

会長； 空き家活用事業では、山北地区や朝日地区の考えをそのまま荒川地区に置き換えても状況が違うと思います。

委員； 市全体を考えるといても、他地区の状況はよく分かりませんし、荒川地区のことを言えばいいと思っておりましたがどうなのでしょう。

事務局； 基本的には、アクションプランの前段は市全体、後段は各地区のことを検討していただくものです。

どこの地域審議会にも言えることですが、各層から委員になっていただいておりますので、いろいろな専門的視点からのご指摘を期待しております。仮に地域性が出る場合でも、こだわりなくご意見を出していただいて、調整が必要であれば、事務局で調整させていただきたいと思います。

会長； 例えば、企業誘致のことを考えれば、荒川地区にはそういう用地もありませんので、工場は神林地区に誘致して、荒川地区は通勤範囲内の住居地として考

えれば、雇用確保は達成できることになります。市全体と地区の両方を見据えた中で検討していただければと思います。

委員； 現実を見ていかなければなりません。絵に描いた餅でなく、実現していくために行政はどうしていくのかという具体的なものが出れば、議論に参加する喜びも生まれると思うのですがどうでしょうか。

事務局； 8年間の総合計画ですので、4年も経てば状況が変わっています。後半の4年間をこういう方向に進めたいという案を提示させていただきましたが、これに対し、みなさんの意見をお聞きして、その視点を大事にしながら後半の実施計画を策定していくための諮問です。

委員； 4年5年の計画も大切ですが、スピーディな動きをすることで地域が活性化するというところもあるかと思っています。

委員； 人づくりの関係ですが、文化団体の活動を生涯学習としての見地からしか見ていないのではないのでしょうか。だから受益者負担ということになるのだと思います。地域文化を行政が育てるという立場から見て、援助してもらわないと、地域文化は育たないと感じます。

会長； ほかにございますか。

委員； 今、各地区の地域審議会と同じテーマで審議しているのですが、非常に掘みどころのないテーマだと感じます。5地区で同じテーマでディスカッションすることは、現時点では多分無理だと思います。

ですから、ここでの考え方は、例えば、坂町病院は大事な医療施設なので、これをもっと活用して、住みやすいまちという方向にもっていこうとか、農業関係であれば、神林地区の基盤がしっかりしているので、そういう所とネットワークを作って、活かしていこうとか、そういう考え方をしていかないと、まとまらないと思います。

行政は各地区の状況がある程度分かると思いますので、荒川地区はベッドタウン、神林地区は農業をメインにと、割振りしてテーマを与えながら進めていかないと、何も成果として残らないことになるのではないかと心配です。

先ほど、農商工連携の件で出た食品会社に提供する農産物であれば、荒川地区だけで考えなくてもJAいわふね全体で考えれば、数量確保も可能になってくると思います。ニーズのあるものを作るということも生産者の仕事ですので、そういう所で6次産業化にもつながっていくのではないのでしょうか。

会長； 荒川地区は人が定着するためのまちづくりを進めていって、人が増えれば商工業も活性化していくでしょうし、いろんな所につながっていくものだと思います。

委員； そのためには、行政が土地を提供したり、予算付けしたり、しっかりフォローしていく必要があると思います。

それと、清流荒川の件については、国土交通省とも協議して、荒川周辺をどう活性化していくか具体的な検討をしていく必要があります。

高速道路の荒川インターチェンジの空いている土地をどうするかも課題だと思います。

- 会 長； ほかにありませんか。
- 委 員； 清流荒川の件についてですが、例えば河川敷に魚道をつくるとか、鮭公園を作るなどの個人ではできない施策、あるいは、村上地区で継承に取り組んでいる鮭文化と同じようなものが荒川にもあるわけですので、行政が何らかの形で火をつけないと組織が育たないのではないかと感じます。
- 会 長； ほかにありませんか。
- 委 員； 定住ということであれば、大津の宅地開発のようなことも考え方の一つだと思いますが。
- 会 長； そうですね。ほかにご意見はありますか。
- 委 員； 最近、幸福度という言葉がはやっておりますが、それは基本的には住みやすい環境なのだと思います。何が幸福か考えると、やはり健康だろうと思うようになりました。健康に暮らせるまちづくりというのが、住みよいまちの基本ではないかと思えます。
- 会 長； いろいろとみなさんから意見を出していただきましたが、ほかにございますか。
- 事 務 局； 本日欠席された信田委員から文書でいただいている意見を紹介させていただきます。
- 各地域で特に取り組む施策の方向性のところで、清流荒川を活かした産業の活性化についてです。「自然を守るには、山、川、海はつながっていることを理解することが必要だと思う。荒川地区にある高坪山は、10数年前とは比べものにならないくらい荒れている。登山者が多くなったのも一つの原因だと思うが、以前は林野庁の許可がないと登山道もつくれず、勝手に木を切ったり、道をつくったり、その場所にない花や木を植えることもできなかったが、最近では勝手によかれと思い、何でもやる人が増えている」とのご意見で、活用することだけでなく、自然を守るという視点も必要ではないかという趣旨だと思います。
- また、健やか・子育て応援プロジェクトの健康づくりの推進について、「(ア)(イ)とも、基本的に大切なことだと思うが、最近は学習のほうに重点が置かれがちではないか。運動も取り入れ、健康な体力づくり、その中で、上級生と下級生とのつながりをつくること。(大人になって社会に出れば、人と人とのつながりの中で生きていかなければならない)」というご意見です。健康づくりも体力面だけでなく、人づくりにも重点が置かれるようになってきているとのことです。
- 会 長； 具体的な意見で、まとめの際の参考にさせていただきたいと思えます。ほかにありませんか。
- 委 員； 荒川地区では31集落の内28の集落に地域福祉会というものがあります。安心して暮らせるふれあいのまちづくりを目指して、各種の事業に取り組んでいます。そんなところも参考にまとめをしていただければと思います。
- 会 長； 大分時間も経っておりますので、今日はこの辺で終了させていただいて、次回、まとめの案をお示して、不足の部分等の意見を出していただきながら、

まとめたいと思います。

4 . その他

会 長； その他として何かありますか。事務局から連絡事項等ありましたらお願いします。

事 務 局； 次回の会議は1月26日（木）に予定させていただきたいと思います。今日の内容をまとめさせていただいて、事前に配付し、それを基にご審議いただきたいと思います。

会 長； 答申の日程も決まっております、2月15日となっております。それまでにきちんとまとめていきますよう、今後のご審議にご協力をお願いしまして、今日の審議会は終了したいと思います。

大変長時間のご審議ご苦労様でした。

5 . 閉会（16:27）